

手入れがされていない人工林の整備により公益的機能の発揮を促した事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

・手入れがなされず放置され、緊急に整備が必要な人工林について、森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、間伐、被害木の伐倒整理等を行った。

今後の展開

・引き続き人工林健全化事業（過去15年間（保安林等については10年間）に一度も森林整備が行われていない人工林）を対象に整備を行う。

取組の内容

- ・事業主体：尾道市
- ・実施場所：尾道市御調町津蟹・大蔵
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：2.05ha
- ・業務金額：931千円
- ・業務期間：令和5年3月6日～3月30日

取組後の感想

【良かった点】

・対象森林の水源涵養機能、土砂災害防止機能及び生物多様性保全等の公益的機能を回復し、継続的に発揮できるようになった。

【整備前】



【整備後】



イノシシの隠れ場所をなくし、被害を防ぐための森林整備を行った事例

事業名：里山林整備事業（鳥獣被害防止型）

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

・イノシシが頻繁に出没する地域において、周囲山林の刈込を行い、イノシシ等が生活圏に近づきにくい環境を整えることを目的に整備した。

今後の展開

・今回除伐を行った範囲において森林所有者等による維持管理を行い、継続して整備効果が発揮できるようにする。

取組の内容

- ・事業主体：尾道市
- ・実施場所：尾道市御調町高尾
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：地拵え0.68ha
枯損木等伐採0.47ha
- ・業務金額：3,804千円
- ・業務期間：令和5年2月21日～3月17日

取組後の感想

【良かった点】

・手入れの行き届かない森林等を整備したことで、イノシシが隠れやすい場所が一掃されたため、鳥獣被害予防効果が期待できる。

【整備前】



【整備後】



地域の象徴となる山を住民の手で整備した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

- ・潮音山は旧瀬戸田町を象徴する山として住民に親しまれており、地域住民による維持管理も継続して行われていた。
- ・しかし、近年は住民の手では整備しきれない場所も増えたため、特認事業による整備と体制の強化が要望された。

今後の展開

- ・潮音山公園を愛する会を中心に、今回整備した器具類を活用して地域住民による維持管理を引き続き実施し、継続的な活動として発展させる。

取組の内容

- ・事業主体：潮音山公園を愛する会
- ・実施場所：潮音山（尾道市瀬戸田町）
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
- ・業務量：森林整備 1.20ha
森林整備活動 3回
利用促進施設整備 一式
- ・業務金額：3,600千円
- ・業務期間：令和4年11月24日～令和5年3月31日

取組後の感想

【良かった点】

- ・国宝三重塔周辺の森林整備を行うことで、島の各所から三重塔を望む景観を取り戻すことができた。
- ・木製のテーブルとベンチを設置したことで、訪問者の利便性が向上した。

【整備前】



【整備後】



日本遺産の山を住民の手で整備した事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：尾道市

取組のきっかけ・経緯

・白滝山は、日本遺産を構成する史跡に選ばれる等地域の象徴として住民に親しまれ、長年住民による保全活動が行われていたが、整備に必要な機械類の老朽化や住民では整備できない箇所が増加したため、特認事業による整備が要望された。

今後の展開

・今回整備したチェーンソーをはじめとする備品を活用し、住民による森林整備を行う。
・森づくり事業の取組により高まった、住民の参加意識をさらに向上させながら、継続的な活動として発展させる。

取組の内容

- ・事業主体：白滝山保全活用実行委員会
- ・実施場所：白滝山（尾道市因島重井町）
- ・業務委託先：尾三地方森林組合
高松建設(株)
- ・業務量：森林整備 0.65ha
路網整備（手すり設置）
森林整備活動9回・講習会等2回
備品等整備 一式
事業の写真展の開催
- ・業務金額：7,000千円
- ・業務期間：令和4年10月1日～令和5年3月31日

取組後の感想

【良かった点】

- ・登山道に被さっている支障木を除伐し、景観を保全することができた。
- ・訪問者から強く要望されていた手すりを設置したことで、安全で訪問しやすい環境づくりを推進できた。
- ・森づくり事業の出前授業や写真展を実施したことで、事業の必要性や取組を周知することができた。

【整備前】



【整備後】

